

生命保險經營

昭和四年六月

第一卷第一號

- 卸刊の辭……………森莊三郎(一)
- 生命保險會社の外野統制に關する諸問題…國崎 裕(二)
- 外務員クラブに就て……………菅谷 秀徳(一九)
- 英米生命保險事業の異同……………加唐 謙吉(三〇)
- 米國生命保險社長協會紹介……………森莊三郎(三五)
- 米國生命保險會社の投資の傾向……………森莊三郎(三五)
- 申込から證券發行迄の順路と其の事務取扱…都 千秋(三六)
- 生命保險需要の分析—有效なる募集方法…岡田 喜光(三六)
- 生命保險會社の新築事務所に就て……………藤川 博(三八)
- 生命保險會社相互間の再保險協約……………福井 武郎(三七)
- 「パワース」式「ホレリス」式二自動會計機の比較……………今泉 浩(二五)
- ニュース……………水野 昇(二五)
- 生命保險經營學會創立趣意書……………(三四)

生命保險經營學會

會 告

○會費を未だお拂込みにならない方は、此際至急振替口座にお拂込み下さい。

○會員及び讀者諸君の投稿を歓迎します。文字は読み易いやうに、成るべく明瞭に書いて下さい。文章は成るべく平易にして下さい。

○記事の内容は生命保險の經濟的又は經營的方面に關係する限り、何でも結構ですが、成るべく事實的、客觀的なものを歓迎します。抽象的、主觀的なものは餘り好ましく思ひません。

○執筆者の責任を明にするために、住所氏名を明記して下さい。餘儀なき事情あれば、誌上の變名を妨げませんが、本會事務所へは必ず本名を通知して下さい。

○入會希望の方は、住所氏名(及び關係會社名)を葉書にて御通知下さいますれば、どなたでも、何時でも歓迎します。

生命保險經營學會

○本會は生命保險の經濟的又は經營的方面の研究を目的とす。

○會費は一ケ年分四圓とし、會員には雜誌『生命保險經營』を毎號配布す。

○本誌は菊版百十頁内外とし、一年六回(二月、四月、六月、八月、十月、十二月)發行す。

○本會事務所は

東京市牛込區市谷仲之町三〇番地

森 莊三郎方

生命保險經營學會

振替口座東京二一六七二番

東京市牛込區市谷仲之町三〇番地

編輯兼發行人

森 莊三郎

東京市京橋區木挽町一ノ十一

印刷人

名 鹽 正 平

東京市京橋區木挽町一ノ十一

印刷所

京屋印刷所

昭和四年五月二十八日印刷
昭和四年六月一日發行

生命保險經營

第一卷 第一號

昭和四年六月

創刊の辭

昭和四年三月六日 地久節の佳辰に呱呱の聲を擧げた『生命保險經營學會』は、わが業界の白熱的歓迎を受け、創立後いまだ幾週ならざるに、その會員數はすでに幾千の多きに達し、なほ入會の申込が續々として絶えない盛況を呈して居る。

本會が斯くも驚異的な進展を遂げ得た所以は、わが生命保險界に精進せらるゝ諸氏の燃ゆるが如き研究心の發露によることは勿論であるが、また賛助員その他の諸氏が背後にありて本會の育成を輔翼せられし恩惠の大なるを確信し、吾等の最も深き感謝を此等の諸氏に捧げる。

雜誌『生命保險經營』は今や新装を凝して、會員諸君の机上に見ゆるに至つた。抑々本會設立の趣旨は生命保險業の經濟的方面、殊に事業經營の方面の研究に存する。従つて本誌はこの方面における研究の發表、共同調査、並に歐米業界の報道を主たる使命とする。吾等は互に相扶けてこの高き使命の遂行に邁進せんことを期する。

昭和四年六月一日

生命保險經營學會

代表者

森

莊三郎